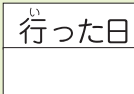


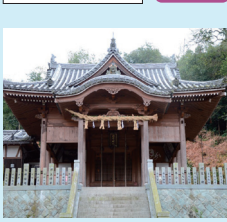
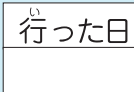
**いつきじんじや 齋神社**

しほうじ ちやうだ まも がみ しかまくんし ほん  
実法寺と町田の守り神です。「飾磨郡誌」という本  
には、昔、播磨一の宮の伊和神社の分霊を総社が  
もらい受けた時、ここで休んだことから、後に分霊  
をもらい受けてまつられたと書かれています。門  
は安富町安志にあった安志藩陣屋の大手門とい  
われ、明治初めにこの場所に移されました。



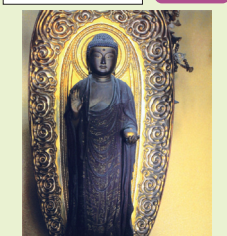
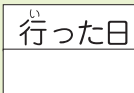
**おおとしじんじや しきさい 大歳神社(飾西)**

すごうがわ ひがしし やま しきさい まも がみ  
菅生川の東岸、山のふもとにある飾西の守り神  
です。飾西宮山を鎮守の森(神社を囲むように  
ある森)として飾西の里とともに守られてきまし  
た。宝暦10年(1760)にできた石灯籠や文化  
10年(1813)にできた石鳥居などがあります。  
平成12年(2000)に新たに建て直されました。



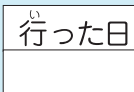
**かさでら 笠寺**

ほり まだいのち こちのえんしやう かん な  
播磨大様の巨智延昌は、寛和2年(986)と  
長保4年(1002)に花山法王が書写山を訪  
れた時にお供に加わりました。円教寺の性空  
上人を深く信仰し、この場所にお寺を建てま  
した。薬師堂は長池のところにありましたが、  
江戸時代には今の場所にうつされました。



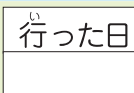
**かんのんどう 観音堂**

おうぼくしやう てら けいたい たいしどう しこく  
黄檗宗のお寺です。境内の大師堂には四国  
八十八ヶ所の霊場の第一番・第四十四番・第  
八十八番のお地藏さまをもらいうけ、お堂を  
つくってまつっています。また、実法寺廃寺跡  
といわれていて、このあたり一帯に七堂伽藍  
の大きなお寺があったといわれています。



**けんしやういんみやうけんどう 顕正院妙見堂**

おんしやういんみやうけんどう  
大歳神社の北にあって、妙見大菩薩がまつられてい  
ます。文政年間(1818~30)に飾西本陣の中山助  
太夫がこのお寺を開き、息子が本堂を建てたと伝  
わっています。境内には寛政6年(1794)に建てた  
題目塔があり、助太夫が母の霊を供養するための  
墓石やご先祖さまの霊をまつる廟もあります。



**はくちょうちく 21 白鳥地区**

いのうただか にほんぜんこく ぞくしやう  
伊能忠敬は日本全国を測量して  
まわり、初めて実測の日本地図を  
完成させた人物です。伊能忠敬は  
どのように播磨地方を測量した  
のでしょうか?調べてみましょう。



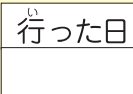
しら 調べたこと、  
わ 分かったことを  
か 書いてみよう!



- 遺跡・史跡 歴史上の名所
- 神社・仏閣 歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り 伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能 など
- 景勝
- 生物・花
- 祭り
- 町並み
- etc その他

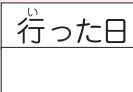
**こうじんじや 荒神社**

しほうじ まも がみ かまとしんじや かさい  
実法寺の守り神で「竜神社」とよばれ、火災を  
防ぐ神さまとして敬われてきました。拜殿には  
伊勢へお参りした人たちが明治36年(1903)  
におさめた「七福神図」があります。神社の裏  
に赤松氏の家来の川口三郎太夫とその家来  
の助四郎の五輪塔があります。



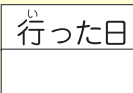
**しきさいほんじん 飾西本陣**

しきさい えど じたい ばし いなばかどう  
飾西は江戸時代の初めごろから、因幡街道の  
宿駅として栄えました。播磨地方を測量した  
伊能忠敬とその仲間が文化10年(1813)に  
飾西本陣や内海屋才助宅に泊まったことが  
『伊能日記』に書き残されています。今は、  
本陣の門構えと書院1棟が残っています。



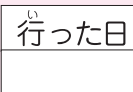
**しやうぶさんしほうじ 菅浦山実法寺**

しやうぶさん なま え じほうじぜんたい しやうぶ しぜん は  
菅浦山という名前は、実法寺全体に菅浦が自然に生  
えていたことから名づけられました。慶長年間(1596  
~1615)に建てられ、伯母山のふもとに本尊の十一面  
観音が置かれていましたが、享保年間(1716~36)に  
今の場所に移されたといわれています。このお寺の門前にで  
きた村だったので実法寺村という名前になりました。



**てらにさんしんこうじ 寺谷山真光寺**

てんもん ほう ちやうしん ほう  
天文3年(1534)、教順というお坊さんが開い  
た浄土真宗本願寺派のお寺です。このお寺は  
実法寺西の寺谷にありましたが、正保年間  
(1644~48)に今の場所に移りました。元禄  
5年(1692)に本山から本尊をもらい受け、お  
寺の名前を真光寺としました。



**どうひやう しきさい 道標(飾西)**

はくちやうしやうがっこう にし しきさい ちやうだ あさがい  
白鳥小学校の西(飾西と町田の字界)にあり  
ます。「右 ひめぢ 左 書写山」と彫られてい  
ます。

